



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hoyukai.org/>

第139号

発行:2017年11月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会

事務部長に就任して

～ 入職時の原点を忘れず、精進します ～

新中川病院 事務部長 福島 洋平



皆さんこんにちは。今年4月に新中川病院の事務部長を拝命致しました、福島と申します。平成15年に鵬友会へ入職してから3度の人事異動を経て、法人内4施設目となるこの新中川病院ですが、事務部長としては1年目。院長、看護部長をはじめ、周囲の方々に支えられながら、学びの日々を送っています。

さて、ここで新中川病院の近況を少しお話しします。当院は、医療療養型病棟114床、障害者施設等一般病棟38床、計152床のケアミックス病院です。高齢で長期療養が必要な方が主に入院されており、特に終末期医療については積極的に取り組んでいます。生活の場を意識し、患者様やご家族が安心して過ごして頂けるよう清潔で整理整頓された療養環境を実現すべく、2・3階の病棟フロアについてリニューアル改修を実施。終末期の患者様に対しては、ご家族と同じ時間を共有して頂く為に、テレビや冷蔵庫、バス、トイレ等を備えた特別室も整備しています。ただ、このようなハード面だけではなく、ソフト面、つまり患者様やご家族の精神的な支えにもなれるように、職員一同が院長の掲げる「気配り、目配り、思いやり」をモットーに、常に相手の立場に立ったケアを提供できるよう取り組んでいます。患者様はもとより、人生最期の時間は家族にとっても特別で唯一なもの。その気持ちにも添える病院でありたいと思っています。

ところで、来年2018年は診療報酬と介護報酬の同時改定の年。業界にとってのビッグイベントが待ち構えています。全容はまだ明らかになっていま

せんが、徐々に新聞記事や報道等、情報の端々からうかがい知ることができるようになってきました。療養型病院のカテゴリで言うと、介護療養病床はいよいよ廃止され、介護医療院なる概念が加わることです。当院は医療療養病床であるため、ひとまずは免れそうですが、前回の診療報酬改定では、医療区分の見直しや在宅支援を評価した加算が充実されるなど、療養型病院のあり方についても一考させられる内容となっています。次回改定も、前回同様厳しいものになると予想されますが、新中川病院の強みと弱みをしっかりと把握し、地域から求められていること、新中川病院として地域に還元できることは何かを考え、柔軟に対応していく必要があると切に感じています。

最後に、手前味噌ですが4月に赴任して以来、患者様やご家族から「きれいな病院ね。」「最期まで良くケアをして頂いて感謝しています。」等々、感謝やお褒めの言葉を掛けて頂くことが多いように感じています。新中川病院の特性もあろうかと思いますが、この病院の職員となってまだ半年程の私でも嬉しく、誇らしい気持ちになり、医療に携わる者として報われる瞬間です。14年前に鵬友会に入職した時から抱いている「原点」のようなものでしょうか。これからもこの原点を忘れず、また病院の健全経営という事務部長としての責務を肝に銘じ、患者様やご家族、さらにはここで働く職員が安心していただける病院作りにこれからも精進していきたいと思っています。

平成29年度

中堅看護師リーダーシップ研修を開催しました。H29.11/18 (土) 湘南泉病院

平成29年11月18日(土)9時~16時、鵬友会各施設の中堅看護師の方々が参集し、鵬友会合同研修が行われました。

まず初めに池島常務理事の講話の中で、中堅看護師に期待することとして、①目標・方針の正しい理解 ②担当職務の完遂 ③専門知識・技術の習得 ④創意工夫、問題解決の実践 ⑤後輩の指導 ⑥周囲への積極的な働きかけ ⑦チームワークへの貢献 ⑧職場風土の開発と自己啓発についての8項目に分けて具体的な例を挙げながら述べ、各職場の中核を担う人たちは、【組織の大きな柱】であると強調しました。

続く、横浜ほうゆう病院 原科看護部長より、「リーダーシップと調整力」をテーマに、リーダーシップとは伝達力、管理能力、指導力が必要であると述べ、さらに第4の力として、調整力(社内調整力・人間関係調整力)が不可欠であることを具体的な状況を交えながら説明しました。

後半のグループワークでは、①チームリーダーとしての自己の実践を振り返り、自己の傾向と課題を明らかにする。②チームメンバーが力を発揮するために必要なリーダーシップについて考える。③チームリーダーとしての個々の実践を分かち合うことで学びを深める。の3点を基にディスカッションし、学びを深めました。



池島 常務理事



原科 看護部長



全体風景



【グループワーク】



【グループワーク】



【グループワーク】



【学びの共有(個人発表)】
(左:石川看護師 右:岡本看護師)



◆◆◆ 第36回 神奈川県病院学会 ◆◆◆ H29.11.13

神奈川県総合医療会館を会場に開催された第36回 神奈川県病院学会において、ほうゆう訪問看護ステーションの：北澤 章江(発表者)・及川 百合子(協力者)・岡本 藤美(協力者)が、平素訪問させて頂いているご利用者、またはそのご家族向けに、災害時への備え・意識などに関する調査を実施し、その結果と、そこで得られた内容を『当ステーション利用者の災害対策に対する意識調査～アンケート調査から見たもの～』というタイトルで研究発表を行いました。



右から、北澤看護師、
及川看護師、岡本看護師